

嘉手納基地の騒音倍増 県に健康調査求める

「年4人死亡」「睡眠障害1万人」
との推計も（北大教授調べ）



嘉手納基地への外来機飛来が相次ぎ、騒音が倍増しています。CV-22 オスプレイ配備に伴う、嘉手納基地の使用やいっそうの負担増が懸念されます。睡眠障害など健康の面からもその被害を明らかにするため、第三次嘉手納爆音差止め訴訟原告団と連帯し県による健康影響調査のとりにくみをすすめます。



外来生物侵入防止 条例を制定



埋立用材に外来生物の混入がないことを確認し、沖縄の生物多様性を守ります。



条例の内容や意義について記者会見

「立憲ネットワークおきなわ」設立 全国 700 人の地方議員が連帯 安倍自公政権止める決意



超党派の地方議員による、「自治体議員立憲ネットワークおきなわ」を設立しました。立憲主義を回復していこうと、新しい政治の連帯が生まれています（会員全国759名、沖縄83名）。背景にあるのは、立憲主義の原則を踏み外し、安保法案を強行採決した安倍自公政権への危機感です。集団的自衛権の行使容認、武器輸出三原則の見直し、原発再稼働、TPP、ひろがる格差と貧困、辺野古新基地建設の強行、報道への圧力など、民意を封じ、戦争ができる国づくりをすすめる政権からの転換を地方から力づくで発信していきます。



沖縄市サッカー場汚染 比謝川への汚染、水害... 基地の環境汚染相次ぎ明らかに



サッカー場で見つかったドラム缶

米軍土地使用歴開示へ

県、基地環境特別対策室で対応強化



比謝川の氾濫で県、地域住民とともに現場を調査。河川治水のための改修にも米軍基地の影響が。



基地跡地・周辺の土壌や水からも汚染が次々に発覚しています。日本の主権が及ばない上、日米間で定めた協定さえ機能しない基地の運用は許されません。県の対策を強化し、住民への情報公開を高め、安心安全な環境をとります。

辺野古への土砂搬出反対の声広がる

「故郷の土砂を一粒たりとも戦争につかわせない」との思いで、土砂搬出候補地を中心に全国連絡協議会が設立されました。全国に連帯が広がっています。



国は沖縄戦調査を！ 戦災調査で沖縄県だけ「対象外」 記録の責任求める



沖縄戦民間被害者の会、ガマフヤーの具志堅松松さん、対馬丸記念館の理事や学芸員のみなさんと調査にあたる

国による太平洋戦争の民間人被害調査で、戦後70年もの間、沖縄だけ対象外とされています。「学童疎開」や「戦災孤児」、「南洋諸島における被害」など県民の被害を明らかにし、継承していくことが必要です。国の責任で調査し、記録するよう求めます。国に対し、翁長知事も公式に要請しました。

若い世代と学びあう



エイサーのまち、沖縄市の魅力は青年会の活躍。若者の力が地域の誇りと活力を生んでいます。ともに学びあう中から明日を担う世代の声を政策に反映させていきます。大学や県内外での講演、小中高校生への講演なども積極的にを行っています。

なかむらみお総決起大会



日時：5月23日(月曜日)午後7時～
場所：沖縄市民会館中ホール

沖縄県議会議員
仲村 未央

社民・護憲ネットワーク報告 なかむらみお
— 第13号 — 2016年4月19日



共に生きる未来をひらく

社民・護憲ネットワーク：〒900-8501 那覇市泉崎1-2-3 ☎ 098(866)2702
なかむらみお事務所：〒904-0011 沖縄市照屋1-7-19 ☎ 098(989)1638